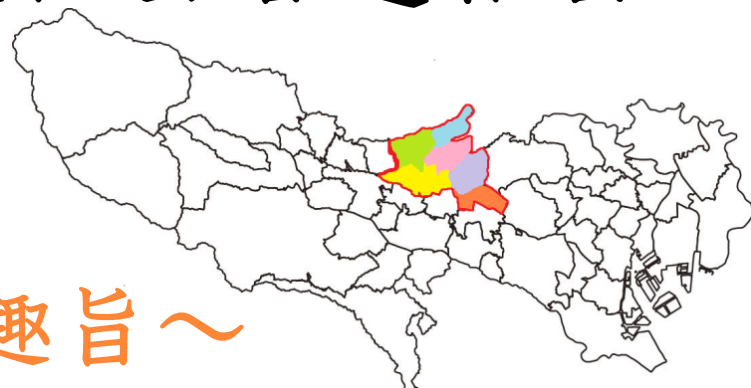


北北ブロック社協 避難者家族支援担当者連絡会

(東村山市、東久留米市、清瀬市、
武蔵野市、西東京市、小平市)



～会の趣旨～

- ・避難者の現況を把握し、対応方法や課題を共有する

必要で、適切な支援は何か？

- ・避難者への支援事業の周知、広域イベントの企画、協働実施等の検討

避難受入れ地域による支援格差の解消

* 考え方の基本は「自立型支援」*

(平成24年度は、計9回実施)

きっかけ

どんなふう支援してる？

- ・対象者の把握
 - ・戸別訪問
 - ・交流会、サロン
 - ・専門相談
 - ・必要な情報提供
 - ・行政との連携
 - ・居住地域の住民との連携
 - ・避難元地域との連携
 - ・個別ニーズへの対応
- …などなど

どうしたらいいんだろう？

- ・対象者がどこに住んでいるか不明で訪問もできない
- ・世帯構成が不明
- ・必要な人に必要な情報が届いていない可能性が高い
- ・行政と連携しにくい(名簿の提供など)
- ・高齢者、障がいをお持ちの方、妊婦さんなど、どうしているのだろうか

近隣地域にも、共通の課題や共有可能な情報があるはず！

「近くに避難してる人って 他にいないの？」

戸別訪問や交流会の時に、

そんな **声** が聞こえ始めていました

そういえば…

- ・「あの地域に同郷の方がいらっしゃるって聞いた気が…」
- ・「あの地域の交流会に参加してみたらどうかな？」
- ・「同じ年ごろのお子さんのいる世帯が近所にあったな」
- ・「この方は、あの地域の企画に興味あるかも…」



近隣に避難している方たち同士が課題を共有したり、
交流したりする「場づくり」が必要なのではないか

連絡会での課題

◆避難者受入れ社協ごとの状況の違い

①避難者の把握について

行政から情報提供されている地域、そうでない地域

②住宅について

専用の住宅がある地域、個々で手配した住宅が全域に広がっている地域

③避難者の状況について

避難理由の違い(原発?津波?自主避難?)、世帯構成や年齢層など

④社協の取り組み

孤立化防止事業で専門の職員を配置している地域、独自事業として支援を継続している地域、社協事業の一部として支援している地域

各市の状況は違っているため、
もありました

温度差

が生じること

とにかくやってみよう！

「避難者家族向け情報★たまちゃん6」の誕生

避難者家族向け情報★たまちゃん6

主に東日本大震災の被災地から北多摩6市(武蔵野市 小平市 西東京市 東村山市 東久留米市 清瀬市)のエリアに避難された方へ、北多摩北部社会福祉協議会から新しい暮らしを彩る情報・ニュースを発信していきます。

● 発信元

名前:北多摩社会福祉協議会
一言:このブログは都内避難者家族の実態を把握し、必要な支援を検討する場として、北多摩6市(武蔵野市 小平市 西東京市 東村山市 東久留米市 清瀬市)の社会福祉協議会が立ち上げた「避難者家族支援担当者連絡会」にて作成しています。

● QRコード



- 1 2 3 4 5... 次の3件>>

2013年06月12日

■【6市のみなさんへ】東久留米ふれあいサロンがはじまります！

このたび、東久留米住宅避難者母の会が、名称、組織、目的をさらに広げ、

東久留米住宅ふれあいの会として活動を開始 しました。

この活動は、福島県の県外避難者支援事業である「ふるさとふくしま帰還支援事業」を活用しています。

今後、月に1回のふれあいサロンの開催や季節ごとのイベント実施など様々な企画をしていく予定です。

東日本大震災の影響で、東久留米市内及び近隣市にお住まいのみなさん、どうぞお気軽にご参加ください。

♪ふれあいサロンがはじまります♪
第1回は「手芸とおしゃべりcafeサロン」

<< 2013年06月 >>

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

● カテゴリ

- 東村山市(0)
- 武蔵野市(1)
- 東久留米市(1)
- 清瀬市(1)
- 西東京市(0)
- 6市全域(14)
- 小平市(0)
- 相談会(0)

● タグクラウド

行事への相互参加



- ・お餅つき
- ・お月見交流会



6

- ・手打ちうどんの交流会
- ・バッグづくりのワークショップ
- ・ふれあい交流会(当事者団体による)

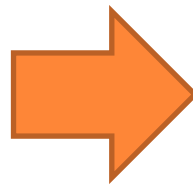
今後について

誰のための何のための支援か…
いつも振り返りながら

★各社協が、互いの違いを認め合って、できることから協力し合うスタイルを継続

★社協の持っている強み「地域のカ」や当事者の力を集めて、それを広げる支援を実践

★ブロック合同で、バスツアーや交流イベントの企画に挑戦



各社協の持つつながりの上に新しいつながりをつくり、さらにそれを広げていくこと



- ・地域の支援格差の解消、当事者間の交流促進など
- ・新しいつながりの構築やそれによる効果＝可能性大！